

海外留学に行こう！



若いときの経験はその後の人生の大きな糧となります。自分の住んでいる地域、国を外からみってみる、その経験は、自分の可能性を確実に広げてくれるでしょう。大学は、みなさんのこうした経験をサポートします。

国際交流・留学生委員会 委員長 加藤憲明

目次

1. 交換留学 韓国・東新大学校 人間文化学部 岸 あや乃
2. 私費留学 カナダ King George International College 人間文化学部 若林風佳
3. 韓国 語学文化体験研修 経営学部 専任講師 細田雅洋
4. 韓国異文化体験研修 人間文化学部 教授 山尾貴則
5. ベトナム・日本語教師 インターンシップ 人間文化学部 野波 薫
6. 交換留学協定校 & 留学相談窓口
7. 国際交流イベント・ニュース

韓国 全羅南道 東新大学校 交換留学

人間文化学部 人間文化学科 4年 岸 あや乃

期間：2014年9月～2015年1月（2014年度後期）

留学した理由：授業を受けている中で海外の暮らしや文化に興味をもち、それを実際に経験してみたいと思ったから。

行ってみて良かったこと：留学するとその国の言葉だけでコミュニケーションを取ることになるので、日に日に話せることが多くなり、自分の成長を感じることができた。

韓国人だけでなく中国人やベトナム人などいろいろな国の人とかかわる機会が多くあり、さまざまな文化に触れあうことができた。

日本や海外の特徴を知ることによって自分を客観視でき、それにより自分の特性をはっきりと理解することができた。

特殊な環境だからこそ他人のやさしさを強く感じることができ、そのおかげで自分もより他人にやさしく接することができるようになった。

行くためにしておくといいこと：韓国語をかじる。韓国語を愛す。韓国料理を愛す。汚いことに慣れる。フレンドリーな人になっておく。アニメの知識を入れておく。・・・韓国を愛す。



留学先：東新大学校

<http://www.dsu.ac.kr/> 観光日本語学科 <http://japan.dsu.ac.kr/>

カナダ King George International College

人間文化学部 人間文化学科 3年 若林風佳

みなさん、こんにちは。私は、昨年4月6日から一年間、カナダのバンクーバーにて、語学留学をしてきました。おそらく、「留学」という言葉を聞くと、とても偉大なことをしたように聞こえがちだとは思いますが、そんなに偉大なことではありません。また、留学で一番大変なのは、もう少し違うところにあります。今回は、留学をするうえで、一番大変だと思ったこと、また、そうした困難をどのようにして克服したのかということをお伝えしたいと思います。

留学の中で一番大変だったこと、それは、英語を学ぶことというよりも、多くの価値観の受け入れ、また、自分自身と向き合うことでした。「留学」という名の通り、たくさんの国から人が来ます。毎日の会話の中からさえ、驚かされることばかりでした。また、日本人は人が言いたいことを察するという文化があると思いますが、その文化は他国の人には通用しないため、自分が何を伝えたいのか、はっきり言わなければなりません。そして、こうした文化の違いなどを見ていくうちに、自分が変わるべき一面にも出会うことができました。私の場合、「物事をもう少しゆるく考える」ということを学びました。しかし、こうしたことを学んでいくためには、たくさんの苦しみがあり、一時期は、学校を一週間ほど休み、キューバに一人で行ったり、散歩を試みたり、カナダ人と友達になってみるなど、多くの生き方があることを知らなければなりませんでした。

最後に、これから留学をしたいと考えている人たちにアドバイスです。もし、留学をするのであれば、「英語だけ」という決まりを心にしっかり置いてください。他国からたくさんの方が来るということは、日本人もその中に入っているということを理解しなければなら



ないからです。いざ、日本人の留学生に会うと、日本語を話してしまいたくなりますが、そこで、話してしまえば、英語が身に付きにくくなってしまいます。留学は確かに大きな挑戦になると思います。しかし、大変な中でも、楽しいこともたくさんあることが事実です。さらに、何倍にも成長することができるはずで、そして、自分を見つめなおし、そこから新しい自分を生み出していってください。

留学先 : KGIC (King George International College) <http://kgic.ca/>

韓国語学文化体験研修 韓国 ウソン大学校

経営学部 専任講師 細田雅洋

本学では、韓国大田広域市にあるウソン大学で韓国語学文化体験研修を実施しています。この研修は、ウソン大学の姉妹校と共に毎年夏に約2週間実施するものです。本学の他、桜花学園大学、大阪大谷大学、羽衣国際大学、関西大学の学生が参加しています。

語学研修は、ウソン大学にある韓国語学センターにて実施されます。担当講師は、日本語を話すことが出来ません。そのため、常に講師が話す韓国語を推測しなければ授業について行けない状況です。授業内容はレベルに応じて異なりますが、初級クラスでは、ハングルの読み方からはじまり、簡単な日常生活レベルの読み・書き・会話の習得を目指します。

語学研修の他、文化体験プログラムが多数組み込まれています。韓国の伝統的な文化と近代的な文化を理解するために、訪問先が厳選されており、どの文化体験プログラムもとても充実しています。

なにより、この研修は安心・安全で大変リーズナブルです。研修期間中は、本学の引率教員の他、ウソン大学の学生スタッフが常にサポートしてくれますので、安心・安全に過ごすことができます。また、学生寮で生活し、食事が提供されるため、現地滞在費はほとんどかかりません。

韓国語に少しでも興味がある・韓国への留学を検討している学生は、是非この研修に参加してみてください。



研修先： 又松大学校 Woosong University 우송대학교 <http://www.wsu.ac.kr/>

近い？遠い？ 確かめに韓国へ！ 異文化体験研修

人間文化学部 教授 山尾貴則

皆さんは韓国のことをどう思いますか？「K-POP 大好き！」「ちょっと苦手かも」いろいろだと思います。え、本当のところはよく分からない？じゃあ自分の感性で体験しましょう！

異文化体験研修は 10 日前後の日程で実施されます。まず事前研修で各自の「調べたいテーマ」を設定し、その上で韓国での研修を行います。これを怠って生半可な気持ちで行くと研修の意味がありませんし、先方にも多大な迷惑をかけてしまいます。真剣に考えましょう。

さて、研修の目玉は韓国南部の羅州市にある東新大学校観光日本語学科の学生との交流です。この学科の学生は早い人だと小学校から（！）日本と日本語に興味を持って勉強しており、日本語で会話できる学生もいます。「韓国語は話せないから」と臆せず、どんどん日本語で話し交流してください。それが彼の地のみんなにも貴重な体験になります。

東新大学校では授業参加の他、大学が位置する全羅南道の自然や文化を体験する小旅行等を実施します。そこでは、マスメディアやインターネットの情報だけでは決して辿り着けない「韓国のリアル」に出会うことになるでしょう。

「興味はあるけどちょっと堅いかな」と思ったあなた。大丈夫です。研修後半はソウルへ移動して「外国の首都における異文化体験」も実施します。と言ってもただのショッピングツアーではありません。ソウルにある大学の学生との交流を行うのはもちろん、作新学院大学に交換留学に来ていたかつての留学生にガイドしてもらって観劇体験をするなど、楽しみながらも普通の観光旅行とはひと味違った経験をすることになります。

そうそう、味と言えば。「興味はあるけど辛いのがダメなんだよなあ」と考えている人もいるかもしれません。確かに出てくる食事の色は赤が主体で、唐辛子が入っています。でも意外にも激辛！というわけではありません。舌や喉をさすヒリヒリとしたものではなくて穏やかな辛みです。また日本でもお馴染みのビビンパやサムギョプサルをはじめ、干したタラや牛のスープなど、辛味ゼロの美味しいものもたくさんあります。ご安心を。

なお研修に際しては韓国の公共交通機関を多用します。飛行機、地下鉄、時にはバスやタクシー。移動はハードですのでご注意ください。でもそれだけの価値は必ずあります。研修を終える頃には、東新で、ソウルで、そして各地で出会った人たちとの友情が忘れられず、帰国の前からまた来たいと思っているはずです。

さあ、自分の目で。自分の感性で。



研修先：羅州 東新大学校、全州 全州大学校、ソウル 弘益大学校

この研修は、2007年の第1回以降、2014年9月までに13回実施され、のべ40名以上が参加し、また、交換留学への参加者を3名出しました。また、社会学分野のみならず、心理学分野の学生も韓国の大学での調査票調査を行い、卒業論文へとまとめ上げています。研修自体のレポートをもとに自主科目としての単位も認定されています。

直井美貴「韓国人青年、日本人青年の対人恐怖」2010、松本聡「韓国映画を通して知った現代韓国」2012、原田唯「盧武鉉大統領の魅力」2013、菱沼あすか「日韓就職活動比較」2013。

日本語教師インターンシップ in ベトナム

人間文化学部 人間文化学科 4年 野波 薫

期間：2015年2月26日～3月27日

場所：ベトナム ダナン

研修内容：日本語初級者～中級者の日本語教育 リゾートホテル ひらがなクラス

日本語教育との出会い

大学2年生のとき、はじめて日本語教師という職業を知りました。海外でも働くことができる資格だと知ってから、大きな可能性がある職業だと思いました。

日本語教育は国語教育とは大きく異なります。日本人は誰でも日本語を教えることができるわけではありません。日本語を教えるためには日本語を客観的に見る必要があります。そのために、日本語文法を学んだり、音声学を学んだりします。私はこの専門性に魅力を感じました。それから、元々海外旅行や外国人との交流が好きだったので、この仕事は自分の特性を大いに活かせると思いました。

インターンシップの感想

今回のインターンシップの目的は、2つあります。1つ目は、日本語教師としての経験を積むことです。2つ目は日本語教育の現場を知るためです。渡航前は何が大変で、どんなことが待っているのかも予想が付きませんでした。実際に現地へ赴いてから身に染みて分かったことのほうが多かったです。海外なので予想外のことが多々ありましたし、うまくいかないこともありました。例えば、コミュニケーションの問題です。英語が通じる方もいればいない方もいます。このような状況の中、時々すれ違いが起こります。勘違いされることも多々ありました。

しかし、ここで伝えることをあきらめてはいけません。仕事上、報告・連絡・相談はつきものです。思い切って伝えたほうが上手くいきましたし、アドバイスをもらえました。それから、時々日本と比べてしまうことがありました。どうしてこうなるんだ、と葛藤のあまり悩んでしまうこともありました。しかし、ベトナムで仕事をしている以上、現地でのルールがあります。また、その企業のやり方があります。文化の違いを苦痛と思うか、面白いと思う



日本語 初級クラスの皆さんと



ホストファミリーのみなさんと

かでは大きな違いがあります。幸い、私は大いに楽しむことができました。この経験は私にとって大きな自信につながりました。

交換留学協定校 & 留学相談

● 交換留学協定校

- **浙江財経学院（中国）** 1987年創立。会計・財務系の4年制大学。所在地は中国東南沿岸の浙江省。本学は1997年に同学院と学術交流協定を締結し、学長の相互訪問や教員の交互講演・講義などを実現してきました。
- **内蒙古民族大学（中国）** 所在地は内モンゴル自治区東部の通遼市。17学院50専攻を擁する総合大学。2007年7月に学術交流協定の締結に向けた話し合いが行われ、正式な協定が締結されました。
- **山西大学商務学院（中国）** 2010年8月、学生交流に関する覚書を締結
- **ソウル女子大学校（韓国）** 2011年1月27日、学生交流に関する覚書を締結
- **東新大学校（韓国）** 2007年に本学と学生交流協定を締結。所在地は光州市の中心から少し離れた位置（羅州）。全羅南道の有名私立大学で、5学部29専攻の伝統ある大学です。

- **交換留学とはどのような制度ですか？**：作新学院大学と相手の大学の間で協定をむすび、一定期間を定め、お互いの学生を交換する仕組みです。授業料はかかりません。また、相手大学で取得した単位を読み替えることもできます（資格科目などは不可）。詳しくは、国際交流・留学生委員会教員の先生、または、学生課で確認してください。

- **ここにはない国、大学に行きたい、短期の語学研修に行きたいときはどうしたらいいですか。** 上の交換留学先は、中国や韓国ばかりです。英語圏、ドイツ語圏、などに行きたい学生もいると思います。遠慮なく相談してください。大学がこれまで実施してきた語学研修などを通して関係をつくってきた留学代理店を紹介できます。

留学を考えたら、まずは、相談を！

担任、国際交流委員会の先生、もしくは学生課へ。「あの～留学を…」の一言から始まります。

国際交流イベント・ニュース

時期	行事内容
4月	前期留学生オリエンテーションの実施（学科学年別）
	外国人留学生支援のためのアンケート調査
5月	作新学院大学 留学生懇親会
	栃木県那珂川町ホームステイ
6月	栃木県新規留学生ガイダンス及び懇親ティーパーティー
	栃木県留学生との交流会
7月	七夕の集い「外国人留学生交流会」
	グローバル人材向けセミナー
9月	作新学院大学 学外研修旅行（H26：尾瀬一泊）
	後期留学生オリエンテーションの実施
	清原防災訓練
10月	グローバル人材のための合同企業説明会
	外国人留学生のための就職活動セミナー
12月	作新学院大学 留学生スピーチコンテスト
1月	外国人留学生のための企業合同説明会
2月	県内留学生ホームステイ
3月	留学生卒業修了退学後の進路決定調査
通年	「栃木留学ガイド」作成 H26 年度大学コンソーシアムとちぎ学生生活動支援事業



2015-05-27 留学生懇親会

**「留学生の学習サポーター」ボランティア
募集中！** 詳しくは、学生課まで

「海外留学にいこう！」2015 年度版
作新学院大学 国際交流・留学委員会
発行責任者 委員長 加藤憲明
編集担当 藤本一男・羅 霄